

CERRESA

NO.242



特集 季節を彩る花き生産者



<http://www.jaceresa.or.jp/>

セラサ
11

2017.November

Contents

特集	季節を彩る花き生産者	3
	川崎探検隊 細山～多摩美を歩く	8
PICK UP		10
逸	愛車とともに挑み続ける 宮前区・杉田 正文さん	14
Aseman	再び始めた農業 中原区・酒井 久幸さん	15
パワー全開	技術を受け継ぎ効率化を目指す 麻生区・鈴木 章夫さん	16
食農NOU	カリフラワー	17
	農作業ノート シクラメンを長く楽しむために 営農技術顧問・志村 隆	18
	農協改革 & 運勢	19
	mail box & クロスワードパズル	20
	JAからのお知らせ & 教えてJA! Q&A広場	21
	INFORMATION	22
ファーマーズ	高津区・河崎 誠さん 麻生区・守谷 公作さん 麻生区・三田 貴子さん 幸区・石井 尊さん	23
Dish Up!	豆腐クリームを使った秋のスイーツ 多摩区・金子 千恵子さん	24

12月の行事予定

2日(土)	春夏種苗展示販売会ならびに直売向け出荷包装資材展示会 (12時～柿生支店)
3日(日)	親子でたのしむ吹奏楽コンサート (13時～本店)
7日(木)	総代研修会 (14時～本店)
10日(日)	春夏種苗展示販売会ならびに直売向け出荷包装資材展示会 (12時～モスビーホール)
14日(木)	第6回セレサ得する市 (9時30分～本店、10時～セレサモス宮前店)
15日(金)	第6回セレサ得する市 (9時30分～本店、10時～セレサモス宮前店)
19日(火)	定例理事会
23日(土)	天皇誕生日
29日(金)	仕事納め (年末年始の営業時間については次号で掲載いたします)

※日程等は変更されることがあります

今月の表紙

パンジーの出荷作業

今月の表紙は、パンジーの出荷作業に励む中原区下小田中の鹿島俊祥さん。パンジーとビオラ合わせて約40品種、約4万株を地堀り栽培している他、ダイコンやニンジン、ハクサイなどの野菜も栽培。子どもをメインとした根菜類の収穫体験も行い、人気を集めています。

今年は10月の長雨の影響で、花の生育が例年に比べ10日ほど遅れましたが、色とりどりの花を求めて農園には毎日多くの人を訪れ、12月中旬頃まで忙しい日々が続きます。





季節を彩る花き生産者



川崎市内では、毎日の家庭の食卓に並ぶ野菜や果物などの他、節句や彼岸、クリスマスなど季節の節目を彩る花の栽培も盛んです。

その中には、地域に代々受け継がれてきた栽培技術を継承しながらさらに発展させ、消費者により高品質な花を届けている生産者が多くいます。食生活の変化・多様化が進む現代においても、さまざまな記念日や大切な人に贈る日本の花文化は、今もお根付いています。

そこで今号では、季節を先取りしながら日々栽培管理に励む5人の花き生産者を紹介します。



川崎の花き栽培の歴史

川崎の花き栽培の歴史は古く、江戸時代の市ノ坪の露地花が始まりとされ、末期には馬絹地域に伝えられたといわれています。栽培が本格化したのは大正時代以降で、次第に市内全域に広がっていきま

した。昭和に入ると、戦争などの影響によりさまざまな苦難を強いられましたが、そうした中でも根強く栽培が続けられてきました。

現在では市内各地でハナモモやシクラメンなど、多くの花が栽培されています。販売方法は市場出荷の他、住宅地に囲まれた立地を活かし、生産者自ら対面販売を行うなどさまざまです。

また、JAや川崎市では、展覧会や農業まつりなどを開催し、生産者の技術向上をはかるとともに、消費者に市内産花きの品質の高さを広くPRしています。



消費者に説明する生産者

技術の継承と質の高さをPR

宮前区馬絹 佐々木 祥教さん

馬絹地区は、江戸時代から続く花の産地。生産者が切磋琢磨して技術を磨き合い、同地区の花き栽培を盛り上げてきました。父をはじめ、生産者の花き栽培にかける熱い思いに心を打たれ、「自分も伝統ある馬絹の生産者の一人として力になりたい」との思いで就農して34年目。終盤を迎えたケイトウの収穫作業に汗を流しています。

父や同地区の後継者が集う「枝折会」などで技術を習得。市内にある約60坪の畑でハナモモやソナレ、小菊、ケイトウなどの枝物や切り花を年間25品目ほど栽培し、大田市場に出荷しています。住宅地に面したほ場には、ピンクやオレンジ、赤など季節ごとに色とりどりの花が一面に咲き誇り、道行く人たちの目を惹きつけています。特にハナモモや梅は、季節を先取りした出荷に合わせるため、大きさを均等に切り揃えて束ねた後、水揚げしてから温度が一定に保たれた室(ムロ)で開花を促成。樹齢や気温、日照時間などを考慮しな

がら、花の表情から今何を欲しているか見極めて管理を徹底し、花本来の美しさを最大限に引き出しています。

中でも枝を柔らかく曲げ、花芽の向きを揃えて束ねる「枝折り」の技術は、全国でも折り紙付き。県外の生産者が視察に来る他、「枝折りの技術で価格が左右される」と言われる中でも、馬絹の熟練された技術は市場関係者からも高い評価を得ています。

自然を相手にして良い花を作ることは、技術はもちろん長年の経験やカンなど目に見えない努力の積み重ね。その年の天候に合わせたスケジュール管理などに頭を悩ませることも多くあります。それでも小まめに観察して手入れを施



すことで、「きれいに花が咲いた時の喜びはひとしお」と、笑顔を見せています。

日々技術に磨きをかけるかたわら、国産花きイノベーション推進事業の「自由な生け花教室」などに支部をあげて積極的に協力。毎回多くの市民が参加し、花に触れてもらう機会を提供しています。また、毎年桃の節句の前に、川崎市長に両手で抱えるほどのハナモモを贈呈し、出来栄を披露するとともに馬絹産花きの質の高さをPRしています。

「今後も勉強を重ねて技術をさらに高め、他産地に負けない花作りに専念したい」と、今日も作業の手を進めています。



差別化をはかり花作りを楽しむ

多摩区菅仙谷 原嶋 俊之さん

農家の長男だったこともあり、子どもの頃から「いつか家業を継ぎたい」という思いが自然と強くなっていきました。就農して約10年。父と二人三脚でシクラメンなどの花き栽培に精を出しています。

父の代から花き栽培を始め、約45㍓の農地で葉ポタンやブルーサルビア、宿根ロベリアなど年間約10品目を栽培。東京砦花き園芸市場などへ出荷する他、シクラメンは主に贈答用として地方発送しています。

菅地区では近隣に花き生産者が少なかったこともあり、1年かけて他地区の花き生産者のほ場で修



行を重ね、栽培技術を習得。就農当初は追肥のタイミングや防除など、年間を通してさまざまな作業に農業の大変さを痛感しながらも、「最初は小さな芽だったものが、日を追うごとに大きく育っていく姿がうれしい」と、今では心から花作りを楽しんでいます。

栽培品目は毎年ほとんど変えていませんが、その分集中して手間を加えたり、景気や流行などを考慮して花の色や生産量を調整。また、「新しい発想で付加価値の高い花を届けたい」との思いで、葉ポタンの仕立て方に工夫を凝らすなど、他の生産者との差別化に取り組んでいます。

就農当初より、父からの提案も

あつて葉ポタンでは珍しい主幹を曲げて下に伸ばす「懸崖仕立て」に挑戦。最近では、通常1回摘心してわき芽を出させる「川崎小踊り」を、2回摘心することでさらにわき芽を増やす試みをしています。花の性格を見極めながら管理を徹底し、ポリユームがあり見映えの良い花に仕上げられています。仕上げまでのタイムリミットが短い上に、市場出荷のためお客さんの反応は分かりませんが、「きつと自農園の花を楽しんでくれるはず」と、期待を寄せています。

出荷を目前にしたシクラメンの温室は、宅配の受け付けなどお客さんと直接やりとりできる唯一の場。常連客を中心に、咲き誇る花を見ようと散歩中の人などが温室に訪れ、毎年多くの人でにぎわいます。その中で「贈り先からとてきれいと喜ばれた」、「昨年購入した花が長く咲いていてうれし」などの声を聞き、大きなやりがいを感じています。

「今後も差別化をはかりながら、一目で自農園の花だと分かってもらえるような生産者になりたい」と、意欲を燃やしています。

消費者が喜ぶ花作りを目指して

中原区下小田中 鹿島 弘久さん

幼い頃から両親の手伝いをしながら、「いつか農業を継ぐだろう」と思っていました。

大学卒業後、会社勤めをしながら、休日は荷造りや出荷などの手伝いをしていく中で、「両親が元氣なうちに技術を学びたい」と考え、就農して15年目になります。

現在両親と3人で約27㍓の畑とハウスでホウレンソウやエダマメなどの野菜と、パンジーや葉ポタンなどの花きを約15品目栽培。市場や園芸店へ出荷する他、自宅前で直売を行っています。

中原地区は大正末期から、花き栽培が盛んに行われており、鹿島家では父の代から花き栽培を始め



ました。就農して1年間は、近隣の生産者の所で指導を仰ぎ、栽培技術を学びました。

1年後、学んだ技術を活かし、両親とともに花きと野菜の栽培に励む中、父から「花はおまえに任せる」と肩をたたかれ、身が引き締まる思いと責任感を強く持つようになりました。

自農園では「消費者に喜んでもらうために納得のいく花を作りたい」との思いから、花きはすべてハウス内で播種から育苗を行い、品種ごとの生長状況に応じて、ポットに植え替えを行い、野外に出し日光に当てながら、生育していきます。



就農当初は、育苗後ポットに植える深さや追肥のタイミングなど年間を通した農作業の大変さを痛感しながらも、毎日少しずつ生長していく花が、どんな疲れも癒してくれました。

毎年、市場関係者や園芸店などから流行の品種や色を調査する他、直売所利用者からもニーズを聞き取りながら栽培する品種などを選んでいきます。

育苗から出荷までの一連の過程で特に気をつけていることは小まめに観察すること。露地栽培では自然環境に大きく影響を受けるため、時間を問わず観察し、花や幹の状態をはじめ土の湿り具合など、病気の予防や生育具合の管理に余念がありません。

こうして愛情を込めて育てた花きを、常連客から「鹿島さんが、育てた花を家族で見るのが楽しみ」と聞くと嬉しく、大きなやりがいを感じています。

「今後も多くの消費者の笑顔を励みにしながら、父から任された花き栽培を発展させていきたい」と意欲を燃やし、今日も作業に励みます。

お客さんに寄り添う農業を

幸区鹿島田 小嶋 孝久さん

子どもの頃、毎日の様に切り花や盆栽の管理に励む父の姿を見ては、草むしりなどを手伝っていました。当初は「細かい作業の繰り返しで大変な仕事」と、農業に対して消極的なイメージでした。それでも盆栽という限られた空間の中で小さな自然が形成されていく姿を見ている内に次第に魅了され、約40年前に就農を決意。住宅地の一角で、一面に広がる木々や花に囲まれながら盆栽の手入れを進めています。

父とともにガーデニングブームなど時代のニーズに合わせて、さまざまな種類の木や花を手掛けてきました。力を合わせて作業に励ん



できた中、父が体調を崩し昨年他界。今後の管理を一人で担うようになりました。一連の知識と技術は身に付けていましたが、多岐に亘る農作業になかなか手が回りにくならず、悪戦苦闘する日々。それでも「父が大切に守ってきた家業を絶やしたくない」と、細かな年間スケジュールを欠かさず、日々管理をこなしています。

現在は松やケヤキ、ムクゲ、サツキなど年間20品目以上を植栽し、直売の他セレスモスなどへ出荷。「より多くの品目を届けたい」と、ミニサイズのザクロやユズなども手掛けています。

中でも心掛けていることは、どの家庭でも飾りやすいようにできるだけ小さく仕立てること。幹の反りと向きを調整する他、日を当てる時間や根を張らせる加減などを考慮して生長を抑制しています。自然の環境では大きく育つものを相反する管理を続け、質感を出しながらも手頃なサイズの盆栽に仕上げています。

直売では常にお客さんとの対話を心掛け、「少しでも長く楽しんでほしい」と、植え替えや剪定時期、



「からスタート」の花き栽培

宮前区東有馬 秋山 智男さん

幼少期から両親が農作業をする姿を見て育ち、「農家の長男として跡を継ぐ」と自然に思うようになっていました。就農して約35年、パンジーやビオラなど年間15品目の花きを約20万株栽培しています。就農当初は、ダイコンやキャベツなどの露地野菜と、温室で宮前メロンを栽培。夏に終わるメロンの後作を検討していたところ、先輩の花き生産者の花園で見たさまざまな彩りの花に魅了され、「この感動を多くの人たちに伝えたい」と栽培を始めました。

先輩から手ほどきを受け、栽培に着手しましたが、想像通りの色彩の花ができず、野菜作りとは違

う難しさに戸惑う毎日を過ごしていました。

次第に土作りや肥料、水やりなどの感覚を掴めるようになり、小さい苗からきれいな花へと、生長していく姿を見て「子どもの成長を見るのと同じ感覚になりました」。

初年度は、約2万株のパンジーを市場に出荷し、自分の花が受け入れられるか不安でしたが、「色つきが良い」と市場の反応は好評でした。

この経験が大きな自信となり、徐々に花き栽培の比重を増やし、栽培を始めて3年後に完全移行しました。

特に思い入れが強いパンジーは15色以上栽培。スタンダードな色の他、流行や生育のしやすさを考えながら生産量を調整しています。

また効率化をはかるため7棟ある温室は、栽培する品種ごとに分別。土作りも10年前からは専門業者に依頼し、土の軽さや水はけの良さなど生育環境に合うオリジナル配合の土を使用しています。

質の高い花を作るために重要な



こうしてお客さんに寄り添いながら手掛けているうちに、常連客の他に女性を中心に若い世代のお客さんが増加。時には「アドバイス通りにやってみたらきれいに咲いた」と、写真を添えて手紙をくれることもあり、大きな手応えと喜びを実感しています。

これからも、「もつと手を入れて質の良い盆栽に仕上げ、多くの人に緑に触れてほしい」と、お客さんの喜ぶ姿を励みに、盆栽作りに専念していきます。

ことは、水のやり過ぎなどにより茎が間延びしたように育ってしまう徒長を防ぐこと。単純なようで難しく、温室内は風通しを良くし、目視と触診を欠かさず行いながら株の状態を常に確認しています。

丹精して育てた花は、基本的には直売せずに市場や園芸店に出荷していますが、通りがかりに直接買いに来る方もいて、「花の絨毯みたい」、「秋山さんの花で庭が華やかになった」と驚きや喜びの声を聞くと、励みになります。

「今後も自分が栽培した花で多くの人が笑顔になれるようにしたい」。そんな思いを胸に抱きながら、花き栽培に取り組んでいます。



香林寺



所 麻生区細山3-9-1
大永5年に創建された臨済宗建長寺派の寺院。境内には本堂の他、五重塔や聖徳太子殿などが建てられています

日本唯一



日本で唯一、禅宗様式の建築で統一された五重塔。外陣には、細山一帯で採取されたカラムシを使って作られた四天王像が安置されています



川崎探検隊

細山～多摩美を歩く

歴史を感じ
森林浴を楽しむ



今回は、小田急線新百合ヶ丘駅からバスに乗り、「細山交番前」停留所で下車して街歩きへ出発♪バスを降りて閑静な住宅街を歩き進むと、高台に「香林寺」を発見。境内に進むと、鐘楼やひと際目立つ五重塔が建てられていました。

五重塔の隣にある果樹園を眺めながら坂を下り、大通りを散策していると「細山神明神社」に辿り着きました。道行く人に「逆さ大門」として珍しい神社と聞き、石段を登って参拝することに。神社の方に逆さ大門のいわれや細山の移り変わりの様子を伺い、地域の歴史に触れました。

神社を後にして通りを歩き進むと、焼きたてパンの良い香りが…。香りがする方へ歩いて行くと、「ひこばえパン屋」と書かれたかわいらしいお店に到着。店内には素材にこだわって作られたパン

が並び、常連客が買い求めていました。お腹が空いたので、人気商品のメロンパンを購入しました。店に別れを告げて食べる場所を探していると、親子連れの方が「近くに広々とした緑豊かな公園があるよ」と教えてくれました。

公園を目指して坂道を上っていると、「かわさきそだち」ののぼり旗が！近くの畑で収穫されたての農産物が販売され、生産者がおすすめするサツマイモを購入しました。

畑の裏道を通って雑木林に囲まれた山道を抜けると、住宅地の一角に森が続く入口が！遊歩道を進み、木々を眺めながらベンチでパンをいただきたいところで、今回の街歩きは終了。

里山の自然を体感し、地域の歴史に触れる中で人々の暮らしを垣間見た1日となりました。

四季を楽しめる



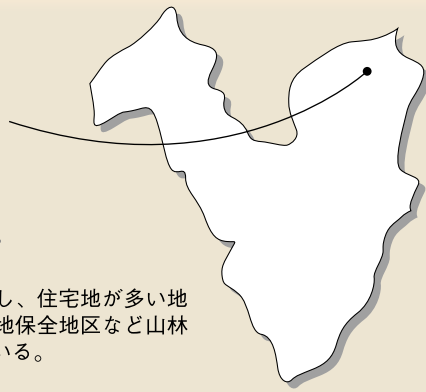
整備された遊歩道の周りには、四季折々の樹木が植えられ、森林浴や紅葉を楽しみながら散歩できます

食農教育にも



園内にある畑では、季節に応じてサトイモやのらぼう菜、万福寺人参などを栽培。小学校の授業や収穫体験などに活用し、子どもたちが土に触れる機会を提供しています

麻生区 細山・多摩美



麻生区の北東部に位置し、住宅地が多い地域であるとともに、緑地保全地区など山林や農地も多く残されている。

ひこばえパン屋



所 麻生区細山5-1-1

営 10:30～16:30

休 日曜日・月曜日・祝日

障害をもつ人たちの就労支援の場として6年前にオープンしました。国産小麦「ゆきちから」を使用し、安全・安心をモットーに心温まるパン作りに取り組んでいます

オススメの人気商品



チョコやくるみなど種類が豊富なフランスパンやメロンパンは人気の看板商品です

朝どれ野菜も



パンに加えて晴れた日の昼頃には、栗平にある畑で栽培・収穫した朝どれ野菜も店頭に並びます

食欲をそそる



定番のパンから旬の食材を使った季節限定のパンまで、約60種類を販売。あんこやカスタードなどの具材もすべて手作りし、やさしい味わいが感じられます

細山神明神社

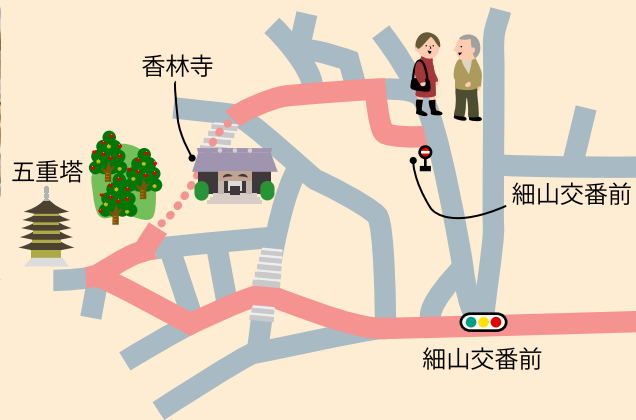


所 麻生区細山2-6-1

関東に三社ある「逆さ大門」の神社の1つ。一般的に神社は坂を上って社殿を参拝する造りですが、神明社は鳥居が丘の上であり、石段の下に社殿が位置しています

逆さ大門のいわれ

初めは東向きに社殿を建てたものの、一夜にして西向きになっており、村人が東向きに直すとまた一夜にして西向きになっていた。そんなある夜、名主の夢枕に神様が立ち「神明社は細山村の東端にある。西向きにして村全体が見えるようにすれば、いつでも氏子を守ることができる。このため、大門が逆さまになるのはかまわぬ」とお告げがあった。名主は村人を集め、お告げのように西向きのまま神明社を鎮守として奉ったとされている。



土方さんの直売所



所 麻生区細山1-10-1

営 水曜日 13:00～荷がなくなり次第終了

「自分がおいしいと思える野菜を食べてもらいたい」との思いで、10年ほど前から旬の野菜や果樹を販売しています。11月下旬頃からは、サトイモやサツマイモ、下仁田ネギがおすすめです

みずみずしい野菜



麻生区市民健康の森



所 麻生区多摩美1-32-3

多摩自然遊歩道の途中に位置し、里山の豊かな自然が残されている緑地。ボランティア団体が保全を行っている他、イベント等も開催される拠点となっています

サポーターへ農産物をPR

スポーツを通じた地域貢献活動の一環として10月14日、中原区の等々力陸上競技場で行われたサッカーの「明治安田生命J1リーグ」川崎フロンターレ対ベガルタ仙台戦に「JAセレサ川崎創立20周年記念エキサイトマッチ」と銘打ち協賛しました。

当日は、競技場前のフロンパークでセレサモスの出張販売を行い、キャベツやサトイモなど約20品目を販売。サポーターに市内産農産物をPRしました。

試合は、終盤の連続ゴールで川崎フロンターレが3対2の逆転勝利。試合後、梶稔副組合長が優秀選手の小林悠選手に「あんたが大賞」を手渡しました。



小林選手に県産米「はるみ」150kgを手渡す梶副組合長

創立20周年記念式典 さらなる発展を誓い合う

JAセレサ川崎創立20周年記念式典を10月5日、本店で開き、支部長をはじめ業態別組織役員、JA役員、行政関係者ら約360人が20年間の歩みを振り返り、大きな節目を祝いました。

冒頭、原修一組合長が「農協改革・自己改革の1丁目1番地である農業所得の増大と農業生産の拡大に向け、セレサモスを拠点に農地と組合員の生活を守っていきたい」とあいさつ。続いて来賓が祝辞を述べた後、記念事業としてJAと地域が一体となり麻生区岡上地区で行った田んぼアートや「新たなるステージへの挑戦」と題したセレサ創立時からの歩みを上映しました。

会場には20周年を記念して高津区坂戸の武笠農園に協力いただき制作した花苗アートが飾られ、お祝いムードに色を添えました。



あいさつする原組合長



さらなる発展を誓い万歳三唱

式典の最後には、出席者全員が気持ちを一つにして声高らかに万歳三唱。市内農業とJAのさらなる発展に向け、決意を新たにしました。



会場を彩る花苗アート

健康づくりを実践



講師と一緒に体操を実践する参加者

福祉研修会を10月6日、本店で行い、組合員ら約180人が参加しました。

当日は、健康運動指導士の黒田恵美子氏が講師を務め「健康寿命を延ばす歩き方」と題し、腰痛やひざ痛予防のための体の使い方を学びました。

黒田氏は「自分の足で歩

き続けるためには体の状態に応じた筋力の付け方や体の動かし方を知ることが大切」と話し、参加者とともに日常生活でできるさまざまな体操を実践しました。

参加者は「三日坊主にならないように体操のパターンを変えて続けたい」と笑顔で話していました。

市内で稲刈りが盛ん

J Aは10月12日、創立20周年記念事業の一環として麻生区岡上のほ場で6月の田植えから管理をしてきた田んぼアートの収穫を行いました。

当日は、同地区の生産者と原修一組合長ら62人が参加。文字の背景部分に植えた神奈川県産米「はるみ」を収穫後、はさがけを行いました。11月2日には市立岡上小学校の児童41人が、文字部分の「古代米」を収穫。参加者は、地域一体となった取り組みに、心地よい汗を流しました。

また、10月17日には市立東門前小学校5年生の児童148人が、同区黒川の田んぼで、6月に田植えをしたもち米の収穫を体験しました。

児童は、J A職員の手ほどきを受けながら2人1組に分かれて稲を刈り、約120kgのもち米を収穫。「寒くて大変だったけどたくさん刈れた。早く食べてみたい」と笑顔を見せていました。

J Aは今後も、農業を通じた地域との連携強化や都市農業のPRに努めていきます。



田んぼアートの収穫作業の様子



真剣な表情で稲を刈る児童

熊本県中央会に義援金を寄贈

J Aは10月18日、昨年4月に起きた熊本地震により大きな被害を受けたJ A熊本県中央会に義援金を手渡し、1日も早い復旧を願いました。

当日は、梶稔副組合長と森安男副組合長らが現地を訪れ、山本浩二常務に義援金を手渡しました。

山本常務は、「川崎市民の皆さまの善意を有効に活用します」と、感謝の気持ちを伝えました。



義援金を手渡す梶副組合長

親子で緑との触れ合いを満喫

植木盆栽部は10月28日、柿生支店で親子ミニ盆栽教室を初めて開きました。市内の親子ら56人が参加し、市内産の松や長寿梅などを使ったミニ盆栽の寄せ植え作りを楽しみました。

当日は、同部員と志村隆宮農技術顧問が指導。参加者は、「松の正面はどっち」などと部員らに質問しながら盆栽の向きなどを丁寧に調整し、長さ35㍉の平鉢に計5点を植え付けました。

完成後は水やりの頻度など手入れを学び、「かわいくできたので家に飾りたい」と親子で協力して仕上げた盆栽の出来栄に笑顔を見せていました。



吉垣勝芳部長から手ほどきを受ける参加者

さらなる品質向上に向け意思を共有

セレスモス出荷者向けの説明会を10月25日、モスピーホールで開き、出荷者とJA役員合わせて約90人が出席しました。

はじめに、今年創設した「農業総合支援対策積立金」の活用状況などを報告。続いてセレスモスの上期の実績報告や需要の高い農産物を紹介し、出荷の協力を呼び掛けました。

その後GAPの取り組みについて、農作業計画の作成から改善まで継続して記録するメリットを伝えました。また、平成27年から試験運用している生産履歴記帳支援システムでは、今年12月から10品目を実施するなど本格導入に向け計画を説明。適正な農薬使用を記録して生産履歴が追跡でき、食の安全・安心を担保できることなどを伝えました。

最後に「出荷品に不備があったら、早急な改善に努めるためすぐ知らせてほしい」などの要望が出され、活発に意見を交わしました。



意見や要望を寄せる出荷者

GAPへの理解を深める

JAは10月26日、生産者にGAP(適正農業管理)に対する理解を深めてもらおうとGAP講習会を本店で開き、業態別組織の部員ら118人が参加しました。

GAPは、安全・安心な農畜産物の供給や環境保全といった持続可能な農業を実現するために、生産現場を管理し適切な農作業を行うこと。さまざまな要件をクリアし、安全性を認められた生産者やJAなどの団体がGAP認証を受けることができます。

同講習会では、日本生産者GAP協会の田上隆一理事長が講師を担当。「輸出向け農産物に限らず、国内でもスーパーなどで認証が求められるようになっていく」と、GAPを実践する必要性を訴えました。

参加者は「安全で安心な農産物の生産に取り組む結果としてGAP認証が得られることを再認識できた」と理解を示しました。



講師の話聞く参加者

鹿島さん青年の主張で快挙



青年の主張を発表する鹿島さん

JA神奈川青壮年部協議会主催のかながわFARM21発表会が10月31日、横浜市の泉区民文化センターで開かれ、県下7人の盟友が農業に対する思いや主張などを発表しました。

当JAからは幸中原支部の鹿島俊祥さんが出場。青壮年部活動を通じて出会っ

た盟友と切磋琢磨しながら、地元の歴史あるパンジーの地掘り栽培を続けていく決意などを力強く語りました。

審査の結果、鹿島さんは農業青年主張の部で見事、同協議会委員長賞に輝き、12月14日に千葉県で開かれる関東甲信越地区大会に県代表として出場します。

「モスビー」と「ハローキティ」がコラボ

セレスモスを活性化し、多くの方にPRしようと、10月19日からサンリオの人気キャラクター「ハローキティ」とセレスモスオリジナルキャラクター「モスビー」のコラボ企画を始めました。農産物直売所と「ハローキティ」が組みのは全国初で、期間は来年10月18日までの1年間です。

20日には宮前店で、原修一組合長と「モスビー」が来店者に「ハローキティ」とのコラボ企画をPRしました。

麻生店、宮前店の店舗のガ

ラスやソフトクリーム売場の壁面には、「モスビー」と「ハローキティ」をデザインし、若年層や子育て世代に話題を提供することで、新規来店者の獲得を目指しています。

原組合長は「コラボ企画でセレスモスをPRし、多くの方に新鮮で安全・安心な市内産農畜産物を購入してもらい、農業所得の増大や市内農業の振興につなげたい」と力を込めています。JAでは今後も新たな客層を取り込むさまざまな企画を進めていきます。



コラボ企画をPRする原組合長とモスビー



宮前店の入口に設置したコラボ企画の看板

家畜・家禽の霊を偲ぶ

畜産部は10月26日、高津区久末の南林山普門院「蓮花寺」で畜霊祭を行い、部員ら20人が家畜や家禽に感謝の祈りを捧げました。

畜霊祭は今回で52回目を迎え、半世紀にわたり続く長い歴史を誇っています。式典では同部の大木孝一部長が「今後も生命の保護と愛護に努めていきます」と祭文を読み上げ、参列者全員で焼香を行いました。



焼香を行う部員

ワイン用に禅寺丸柿を収穫

柿生禅寺丸柿保存会は9月下旬から10月4日にわたり、麻生区柿生地区内でワイン醸造用に禅寺丸柿の収穫を行いました。

最終日の収穫作業には、同会の会員とJA職員合わせて29人が参加。同地区内8か所に分かれて1.7トンの柿を収穫しました。



木に上り柿を収穫する宇津木副会長

数日に渡り収穫した4.1トンの柿は、山梨県の醸造会社に出荷。昨年より1週間ほど早く色づきましたが、同会の宇津木裕副会長は「例年並みの収量と甘い柿に育った。今年も良いワインができそう」と笑顔を見せました。



愛車とともに 挑み続ける

逸

ITSU

私の好きなこと



クラシックカーレースに興味をもったのは35歳の時。レースに出ている友人に誘われたことがきっかけでした。会場の熱気や胸に響く車のエンジン音などすべてに魅了され「自分もこの舞台で走りたい」と思うようになりました。



友人のついででクラシックカーを購入し、時間を見付けては筑波や富士のサーキット場に通り一日200km以上を走破。当初はブレーキを踏むのが早く、スピードを上げられませんでした。回数を重ねるうちに減速と加速のタイミングを掴めるようになり、時間を

PROFILE

レース同様、スピード感を味わえるスポーツが好きです。スキー歴も30年以上。毎年家族で、苗場や志賀高原などにスキー旅行に出掛けています。



宮前区菅生
杉田正文 さん



■ ひゅうまん

再び始めた農業

中原区木月 酒井 久幸さん

「手を掛けた分だけ応えてくれる農業は何より楽しい」。福島県で生まれ育ち、学校から帰ると農作業を行う母を手伝うことが日課でした。卒業後は川崎に移り、就職。退職後には娘の嫁ぎ先が農家だったこともあり、再び農業に携わるようになりました。

約3坪の畑を任せられ、娘の義父や栽培本などで知識を習得。堆肥を使って一から土作りを行い、ホウレンソウやコマツナなど野菜の栽培を始めました。

順調に作業を進めてきた中、長雨により種や定植した苗が流されてしまうなど、多くの苦労を経験しました。「せっかく植えたのに」と悔しい思いをしましたが、「失敗からも学ばなくては」と、丁寧な土寄せや消毒のタイミングなど管理を徹底し、何とか収穫までつなげました。「苦労して初収穫した時のうれしさは今でも覚えています」。収穫した野菜は、「お客さんに喜んでほしい」との思いで手に取りやすい価格で提供する他、朝収穫してその日の内に直売所で販売しています。毎日の様に畑に向かい、丹精して育てた野菜はお客さんか



ら好評で、手に取ってくれるたびに大きな喜びを実感。子どももの頃には野菜を育てて自分が楽しむ農業が、今ではお客さんに喜んでもらうための存在にもなっています。現在はハウスの設置などにより任される畑は縮小しましたが、ハウストマトを手伝いながらダイコンやサトイモなど年間10品目以上を栽培。畑に行くたびにお客さんの喜ぶ顔を思い浮かべながら、農作業に励んでいます。

「農業を生きがいとして、これからも体が動く限り続けたい」と、今日も畑仕事に汗を流します。



毎日農作業をする両親が高齢になったこともあり、「元気づちにノウハウを学びたい」と、30年間勤めていた会社を退職し、5年前に就農しました。

両親と3人で、約50アールの畑で定番野菜の他、ミカン、ブルーベリーなどの果樹を合わせて年間約30品目を栽培。収穫した農産物は、全量柿生野菜生産者直売会に出荷しています。

サラリーマン時代にも、休日は耕耘から収穫まで一連の農作業を手伝

『技術を受け継ぎ 効率化を目指す』

麻生区古沢 鈴木章夫さん

っていました。基本的な作業は分かっているつもりでしたが、本格的に就農してみると日々の管理、農薬や肥料の専門知識など足りないことが多く、改めて両親から知識と技術を学びました。

さらなる品質の向上と農作業の効率化を考え、農業セミナーに通い得た知識を活かし、ブロッコリーの苗をセルトレイで育苗。害虫の被害を受けつらく、均一な苗を育てることができると、安定生産が可能にな

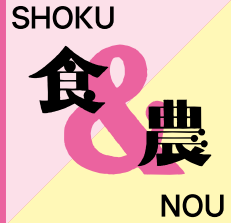
その成果もあり、2年目からは一部の畑の作付けを任せられるようになりました。苦労は多いですが「自分が手掛けた農産物が日々生長していく様子を見るのが楽しいです」。

さらに直売所で人気のトマトは、作付け面積を大幅に拡大。収量を約2倍に増やすなど、農業所得の向上のため日々研究しています。

農作業に終わりはありませんが、今後も品質向上と効率化を進めながら新顔野菜などを研究し、「直売会のある生産者に負けない品質と独自性のある農産物を栽培したい」と今日も畑に向かいます。

日々の管理もあり、なかなか畑を空けることができませんが、子どもが夏休みに入ると、家族で毎年大阪へ旅行に行きます。中でもテーマパークが大好きで、さまざまなアトラクションやイベントを回りながら、気分をリフレッシュしています。

カリフラワー



アブラナ科アブラナ属の淡色野菜。原産地は、地中海東部沿岸といわれています。日本に伝わったのは明治時代初期に入ってからですが、市場に出回るようになったのは第二次世界大戦後です。保存の際は、ポリ袋に入れて冷蔵庫の野菜室で保存しましょう。すぐには使用しない場合は、かために茹でて冷凍庫で保存しましょう。解凍後も菌ざわりを残すには、しっかりと水気を切ってから冷凍するのがおすすめです。

淡泊な味で独特の菌ごたえが特徴のカリフラワー。ブロッコリーが突然変異したものがカリフラワーだといわれています。カリフラワーの食用部分は花蕾（からい）といい、小さなつぼみが集まったものです。旬は11月から3月で、白色やクリーム色のものが一般的ですが、近年は紫色やオレンジ色のものも出回っています。

カリフラワーは、ビタミンCを多く含んでおり、含有量はキャベツの約2倍。通常、ビタミンCは熱に弱いものですが、カリフラワーのビタミンCは熱に強く、加熱しても損失量が少ないのが特徴です。また、カリウムや食物繊維も多く含んでおり、栄養価の高い野菜といえます。

新鮮なカリフラワーは生でも食べられますが、アクがあるので、下茹でしてから使用するのがおすすめです。また、白色のカリフラワーは、酢かレモン汁を加えた湯で茹でるとさらに真っ白く仕上がります。独特の食感を生かしたい場合は、少し固めに茹でましょう。

購入の際は、ずっしりと重みがあり、花蕾が固く締まっています、こんもりと盛り上がっているものを選びましょう。

カリフラワーの粒マスタード炒め

材料(2人分)

- ・カリフラワー…150g
- ・牛肉(こま切れ)…100g
- ・ピーマン…1個
- ・サラダ油…適量
- ★粒マスタード…大さじ2
- ★しょうゆ…大さじ1

作り方

- ①カリフラワーをひと口大に切り、沸騰した湯で2分ほど茹でてザルにあげる。
- ②フライパンにサラダ油を熱し、牛肉とピーマンを炒める。全体に火が通ったら、①を加えてさらに炒める。
- ③★を加えて炒め、均等に混ぜたら、できあがり。



シクラメンを長く楽しむために

10月下旬から年の暮れにかけて、温かみのある季節の花として暮らしの中に彩りを与えるシクラメン。川崎市内では、早くからレベルの高いシクラメンが栽培されていますが、今号ではシクラメンを長く楽しんでいただくための手入れ方法を取り上げます。



【シクラメン】 地中海東部沿岸地方を原産とするサクラソウ科の多年草。
別名：カガリビバナ、ブタノマンジュウ

【選び方】

- ・株が鉢の外側まで広がっていて、色濃く厚めで程よい大きさの葉が70～100枚ほど付いているもの。
- ・良い花が咲いているだけでなく、花の下に次の蕾が付いているものを確かめて選びましょう。
- ・花が咲き始めてからそのシーズンが終わるまで、葉の数だけ咲く見込みです。



【生育環境】

- ・日中はできるだけ日当たりの良い窓際に置き、十分に日に当てます。夜間は厚手のカーテンを引き、冷気を遮断します。なるべく昼夜間の温度差を広げないことが肝要です。
- ・温かい空気が当たると水分が奪われて株が衰弱するので、暖房機の近くなどは要注意です。

【水やり】

- ・硬めの葉が少し柔らかくなったら水やりのサイン。土の表面が乾いたのを確かめ、温暖な日の午前中に口の細いジョウロで、鉢のふちからたっぷりと与えます。
- ・受け皿に水が出てくるくらい与えますが、受け皿に溜まった水は捨てましょう。

【手入れ】

- ・咲き終わった花と黄ばんだ葉は、指先で付け根からねじるように引き抜きます。
- ・灰色のカビが付いた花と葉は早めに取り除きましょう。

【施肥】

- ・葉色を見て置肥をやります。少し色が薄くなっているようであれば早めに施肥します。
- ・固形の置肥などの緩効性肥料2gほどを1か月に1回、またはハイポネックスなどの液肥700～1,000倍を月に2～3回程度、水やりに合わせて施します。

【来シーズンも楽しむために】

- ・6月まで肥料を与えて葉をよく茂らせ、6月に一回り大きな鉢に植え替えます。
- ・用土は、新しい赤玉土中粒に30%程度の腐葉土と重焼燐を少々、そして配合肥料または緩効性肥料を元肥として混和したものを使います。
- ・鉢の周りに付いている古い土を箸で落としてから、浅めに植えて周囲に新しい土を入れましょう。
- ・夏は強い日差しを避けて風通しの良い場所に置きます。肥料はあまり与えず、乾き過ぎないように水をやります。
- ・夜間涼しくなる9月中旬頃からは、日当たりの良い場所に置きます。
- ・最低夜温が15℃以下にならないうちに、室内に取り込んで育てましょう。

※JAでは、本欄で執筆している営農技術顧問による営農相談コーナーを開いています。病害虫被害の場合は、被害作物もご持参くださると助かります。開催日は22ページをご参照ください。

農協改革

～「農地の多面的機能」を情報発信し、都市農業振興をサポート～

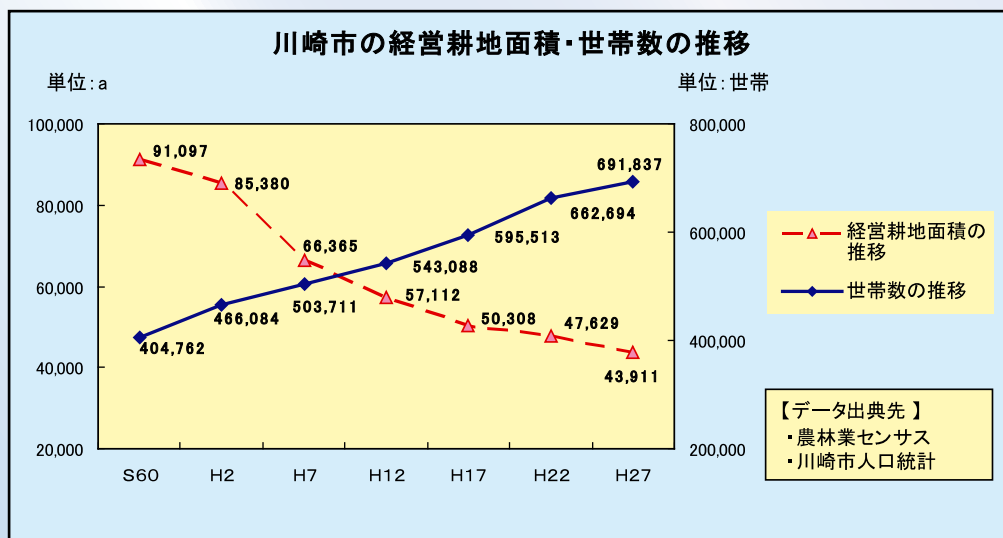
「JA セレサ川崎創立20周年記念農業まつり」は今年も盛況のうちに終了しました。この「農業まつり」は、「農協改革・自己改革」を進める上で、「都市農業をPRする機会」として重要な役割を担っています。

下のグラフでは、赤点線は市内の経営耕地面積の推移、青実線は市内の世帯数の推移を表示していますが、二つのデータは完全に反比例の動きをたどっています。

こうした情勢を踏まえ、当JAでは基本理念の一つである「地域と共生する都市農業」の実現を目指し、「自己改革」の一環として、「都市農業への理解対策」にも積極的な取り組みを展開しています。

具体的な取り組みとしては、行政へ農地税制に対する改善要望を積極的に行う他、地域に対して景観整備事業、さらには食農教育事業などの展開を進めています。また、組合員の皆さまの協力のもと、市民防災農地の登録を通じて市民の安全確保に貢献しています。

JAでは今後も、こうした「農地の多面的機能」の効果を市民に対して積極的に情報発信し、都市農業の振興に寄与してまいります。



12月の運勢

モナ・カサンドラ

おひつじ座 3/21~4/19

【全体運】行動力が高まり、アクティブに動き回れそう。積極的にチャレンジして。ネットでの情報収集も幸運【健康運】疲れをため込みがち。適度な休憩を【幸運の食べ物】ミズナ

おうし座 4/20~5/20

【全体運】暗い気分になりやすいかも。気晴らしを心掛けて、好きなことに意識を向けよう。ヒーリンググッズも◎【健康運】オーバーワークに注意。のんびりして【幸運の食べ物】クワイ

ふたご座 5/21~6/21

【全体運】ささいなことで、つまづきやすい時期。小さなミスにクヨクヨせず、スッと切り替えて。ギャラリー巡りが吉【健康運】食べ過ぎを控えて自己管理を【幸運の食べ物】ミカン

かに座 6/22~7/22

【全体運】情緒不安定になり、身近な人たちに迷惑を掛けがち。玄関に花を飾るとリラックス効果が【健康運】気が緩みやすいかも。小さなけがに注意【幸運の食べ物】キンメダイ

しし座 7/23~8/22

【全体運】レジャー運が活性化。気の合う仲間たちとにぎやかに過ごせそう。遠出のドライブやイベントへの参加も好結果に【健康運】健康の話題に注目を【幸運の食べ物】コマツナ

おとめ座 8/23~9/22

【全体運】ちょっとしたことでイライラしやすい傾向あり。笑顔を忘れずに。ストレス解消には、1人の時間を満喫して【健康運】まめに動く为好変化が【幸運の食べ物】レンコン

てんびん座 9/23~10/23

【全体運】フットワークが軽くなり、チャレンジ精神が旺盛になる月。行動範囲を広げていけば、うれしい驚きに出合えそう【健康運】気分転換にスポーツが効果的【幸運の食べ物】サバ

さそり座 10/24~11/22

【全体運】ゆったり過ごせる期間です。趣味や習い事に力を注ぐと、新たな発見が。プライベートを充実させて【健康運】質の高い眠りを目指せば、体調アップ【幸運の食べ物】ダイコン

いて座 11/23~12/21

【全体運】自分に自信が持てそう。アイデアがあるなら意欲的に主張して。過去に駄目だったことにも新たな変化が【健康運】生活習慣を見直せば、恩恵多し【幸運の食べ物】長ネギ

やぎ座 12/22~1/19

【全体運】インスピレーションがさえているので、ピンときたことはやってみるのが正解。人間関係は協調性をモットーに【健康運】マッサージで血行促進を【幸運の食べ物】タラコ

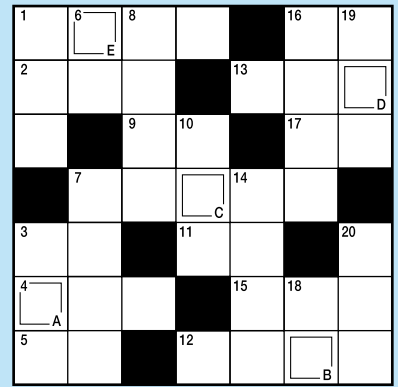
みずがめ座 1/20~2/18

【全体運】知的好奇心を刺激される予感。体験教室や説明会に顔を出すと吉。趣味の集まりにも積極参加を【健康運】好調キープのためにリラックスを心掛けて【幸運の食べ物】ヒラメ

うお座 2/19~3/20

【全体運】何かとプレッシャーを感じる気配。深呼吸で気持ちを落ち着けましょう。人の意見には謙虚に耳を傾けて【健康運】徐々に好転。体に良いことをすると◎【幸運の食べ物】野沢菜

クロスワードパズル



タテのかぎ

- ①2人組はコンビ、3人組は_____
- ③親同士がいとこです
- ⑥_____に交われば赤くなる
- ⑦「おはよう」とか「さようなら」とか
- ⑧コロンブスはインドを目指して_____を続けました
- ⑩カカオ豆から作る飲み物
- ⑭サンタクロースが乗ったそりを引きます
- ⑯ブーケともいいます
- ⑰太陽が沈むとやってくる
- ⑱進化の反対語
- ⑳人の言葉をまねるのがうまい鳥。_____返しに答える

ヨコのかぎ

- ①大みそかには_____そばを食べる人も多い
- ②英語ではドラゴン。想像上の生き物です
- ③物を燃やすと残るもの
- ④鶏の頭の赤い冠
- ⑤何度も練習して、ようやく_____をつかんだ
- ⑦「山!」「川!」
- ⑨現在よりも前です
- ⑪庭に掘りたがる犬もいます
- ⑫デジタルカメラには装填(そうてん)しません
- ⑬少年剣士たちが振る物
- ⑮月曜と水曜の間
- ⑯お子さまランチに立てられていることも
- ⑰狩りにも使われる鳥

9月号のこたえ

アキマツリ



応募総数 39通
当選者5人の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。*住所・氏名等の記入忘れがある場合は正解しても無効となりますのでご注意ください。



◆農作業に励んでいます◆

息子夫婦が貸し農園で野菜作りに励んでいます。続々といいなと思っています。

(多摩区・廣澤さん)

◆陽気の良い日に◆

川崎探検隊の犬蔵周辺は楽しそうなので、秋の陽気の良い日を見計らってぜひ訪ねてみたいと思います。(高津区・黒田さん)

◆感謝しました◆

感謝の集いに参加しました。由紀さおりさんと坂本冬美さんの声量の豊かさや感性あるトークにとっても感激し、元気をもらいました。(川崎市・陶山さん)

◆健康長寿のお手本◆

中原区下小田中の大戸神社で例大祭が行われ、大勢の人々が楽しいひとときを過ごしました。なかには百歳を超える方が踊る姿も見られ、観客に元気を届けました。



◆畑がコスモス畑に◆

川崎にある畑で毎日農作業を頑張っています。畑に花の芽を残しておいたところ、コスモスがいつぱい咲き、お花畑になっています。(相模原市・島貫さん)

◆愛情を込めた野菜◆

特集で紹介された高橋さんの直売所が近所にあるのでよく行っています。野菜がとてもおいしいです。愛情を込めて育てていらっしやるからなのです。

◆匂いまでよみがえる◆

Dish Up!のおほぎを見て、幼い頃に母が作っていたことを思い出しました。匂いまでよみがえり、食べたくなりました。

(中原区・平松さん)

◆若手農家を応援◆

いきいきファーマーズに掲載された中原区の和田さんを応援しています。私はのらぼう菜が大好きで、「のらぼう菜の栽培に挑戦したい」との言葉がとてもうれしかったです。

(高津区・鳥井さん)

◆待ち遠しいイベント◆

昨年セラサモスで目にしたプロコリーがとても大きくなってびっくりしました。今年も早く店頭には並ばないかと楽しみにしています。

◆投稿のお礼◆

たくさんのお便りありがとうございました。これからも感想お待ちしております。

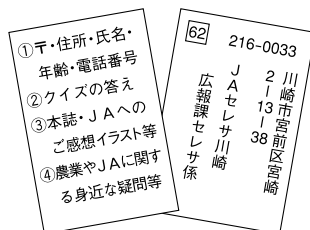
(JA広報課)

応募方法

■このコーナーでは身近なできごとなど、皆さまからお便りをお待ちしております。お便りをいただいた方およびクイズにお答えいただいた方の中から抽選で5人の方に図書カード1,000円分をプレゼントします。送付方法は郵送で、郵便番号、住所、氏名(匿名の方はペンネームを添えて)、年齢、電話番号を記入し、右記まで送付してください。写真の掲載を希望される方は、プリントを封書でご送付ください。

※匿名を希望される場合は必ずペンネームをお書き添えください。個人情報保護法に基づき、応募された方の個人情報は賞品発送以外には使用しません。

◎締切 12月15日(金)必着



お寄せ頂いた感想、イラスト等は本誌で掲載することがあります。

営農支援強化に向け講習会

JAは10月27日、麻生区早野のほ場で、営農支援強化を目的としたトラクター実技講習会を開きました。



当日は、営農担当者17人が参加。職員は、操作方法などの説明を受けてから順番に耕耘作業などをし、車幅や速度調整を意識しながらの旋回などに苦戦しながらも徐々にコツをつかみ、安全運転に対する技術と知識を深めました。

飾り寿司に挑戦

セレサオープンカレッジを10月21日、モスピーホールで開催しました。同カレッジは、協同活動への理解を深めてもらおうと毎年行っているもの。今年度第3回目の講座は、「飾り寿司」に挑戦しました。ふるさとの生活技術指導士が講師を務め、参加者は同指導士からアドバイスを受けながら、見事な寿司を完成させました。



アグリスクールで栽培技術を習得

第5回アグリスクールを10月12日、市農業技術支援センターで開き、新規就農者ら19人が参加しました。



JA営農技術顧問が講師を務め、野菜のトンネル栽培や果樹苗木の定植方法を説明。続く実習では、播種機を使ったコマツナの播種やミカンの木の定植を行い、参加者は質問をしたりメモをとりながら熱心に栽培方法を学びました。

振り込め詐欺未然防止で感謝状

さまざまな手口で、今もなお発生し続ける振り込め詐欺。この被害を未然に防いだことで10月20日、千代ヶ丘支店の佐野志織職員（現中原支店）に、麻生警察署長より感謝状が贈られました。



JAは今後も、詐欺被害の防止に努めてまいります。

ソフトボール大会で交流深める

青壮年部ソフトボール大会が10月11日、麻生水処理センターで行われ、橘・高津・幸中原、宮前・向丘、生田、稲田、菅、柿生の6チームが熱戦を繰り広げました。

決勝戦では稲田と菅チームが対戦し、白熱した試合展開の結果、菅チームが優勝。試合後は柿生支店で表彰式と懇親会を行った他、27日の青壮年部菅支部20周年記念式典で優勝杯を披露しました。



晴れの入賞者 敬称略()内住所

平成29年度川崎市花き立毛共進会
露地切花(秋の部)

10月17日 市内巡回 出品点数18点

▽特選=ドリアン・吉田恵一(馬絹)、同・吉田貴次(同)

▽入選=ドリアン・吉田恵一(馬絹)、同2点・田辺裕崇(同)、

小菊・都倉光太郎(宮崎)

パンジー・ビオラの部

10月24日 市内巡回 出品点数9点

▽特選=ポット・内藤恭正(下小田中)

▽入選=ポット・秋山智男(東有馬)、同・内藤浩由(下小田中)

葉ポタンの部

10月30日 市内巡回 出品点数5点

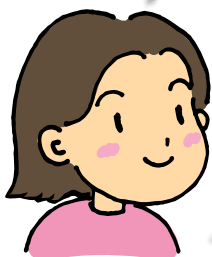
▽特選=ポット・手塚和之(野川)

▽入選=地堀・鹿島弘久(下小田中)

教えてJA! Q&A広場

農業やJAに関する身近な疑問等をお寄せください

JAが行う食農教育について教えてください。また、親子で参加できる農業体験教室はありますか。



親子農業体験の様子

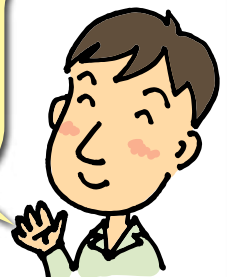
ありがとうございます。参考になりました。

JAでは、支部や青壮年部、女性部の協力のもと、農産物の栽培や収穫体験などを通して生産者の苦労や食の大切さを知ってもらう機会を作っています。

サツマイモやダイコンの植え付けから収穫まで一連の農作業体験や、地場産農産物を提供してカレーやピザ作りなどの料理教室を行っています。

また田植えや稲刈りなどの稲作体験や餅つきなどの収穫祭も行い、年間を通じた食農教育活動を展開しています。

開催内容は地区により異なりますので、HPや支部回覧等でご確認ください。



JAからのお知らせ

◇理事会だより◇

☆第7回定例理事会…10月24日(火)
本店で開催【報告事項】平成29年度川崎市園芸生産物品評会の開催について…開催日：審査…11月23日(木)、一般観覧・即売…11月24日(金)、会場：セレスモス宮前店駐車場。平成29年度手作り加工品品評会の開催について…開催日：審査…平成30年1月17日(水)、一般観覧…1月18日(木)、会場：セレスモス宮前店。春夏種苗展示販売会ならびに直売向け出荷包装資材展示会の開催について…開催日：12月2日(土)柿生支店3階大会議室、12月10日(日)セレスモス宮前店モスピーホール、いずれも正午～17時、開催内容：種苗メーカー総勢13社による直売向け春夏栽培用品種の紹介、鮮度保持袋等の展示販売。他26項目を報告。【協議事項】8項目を協議決定。

◇組合員の皆さまへ◇

組合員資格に変更のある場合は、当JAまでお申し出ください。

セレサのDATA

購買品供給高	6億29百万円
販売品取扱高	7億83百万円
施設事業契約高	56億51百万円
貯金	1兆4,584億円
貸出金	5,311億円
長期共済保有高	1兆6,733億円
年金共済保有高	342億円
組合員数	67,282人
うち正組合員	5,674人
准組合員	61,608人
(10月31日現在)	

営業時間のご案内

☆支店窓口…平日9:00～15:00
☆A T M…8:00～21:00(セレスモス麻生店は営業時間内の稼働)
☆経済センター店舗…平日・土日
9:00～16:30 ※祝日は休み
☆セレサパーシモン…平日・土日
9:00～16:30 ※祝日は休み
☆セレスモス麻生店…10:00～17:00
セレスモス宮前店…10:00～18:00
(定休日：水曜・年末年始ほか)
※12月は水曜日も休まず営業いたします。
※節電対策により、営業時間が一部変更になっております。

12月の営農相談コーナー

☆JA経済センター(宮前有馬2-13-1)…1日(金)、6日(水)、8日(金)、13日(水)、20日(水)、22日(金)
☆セレサパーシモン(資材店舗：麻生区片平2-30-15)…5日(火)、12日(火)、14日(木)、19日(火)、21日(木)
時間：9:00～16:00
相談員：JAの営農技術顧問
その他：予約は不要です。

12月の経営相談日(法律)

5日(火) 9:30～11:30 宮前支店
13:30～15:30 中原支店
12日(火) 13:30～15:30 みなみ支店
16日(土) 9:30～11:30 梶ヶ谷ビル
19日(火) 9:30～11:30 高津支店
13:30～15:30 生田支店
26日(火) 13:30～15:30 中原支店
相談時間は原則30分程度。要予約。予約は相談日の前営業日16:00までに各会場支店の総合相談担当・梶ヶ谷ビルは本店資産相談課まで。予約のない方は、予約者の相談終了後となります。

12月の年金無料相談会

7日(木) 鷺沼支店
ご予約は開催支店まで。

社会保険労務士による公的年金の受給に関するご相談をお受けしています。相談会開催日や年金・社会保険セミナー等の日程は下記ホームページをご覧ください。

12月の休日住宅ローン相談会

16日(土) 御幸支店、小杉支店、宿河原支店、野川支店、宮崎支店、菅生支店、稲田支店、柿生支店
17日(日) みなみ支店、鹿島田支店、新城支店、久地駅前支店、梶ヶ谷支店、宮前平支店、向丘支店、百合丘支店、東柿生支店
開催支店または下記ホームページからご予約のうえ、ご来場ください。ご予約がない方はお待ちいただく場合がございます。時間は9:00～15:00

12月のセレササロン

5日(火) 大島支店
6日(水) 高津支店
7日(木) 中原支店
13日(水) 生田支店
内容：牛乳パック菓子皿(大島支店) スノードーム(他3支店)
会費：800円(大島支店) 1,200円(他3支店)
対象：おおむね60歳以上の方
お問い合わせ・お申し込みは本店生活福祉課(TEL877-2509)まで

セレササービスのご案内

JAセレサ葬祭センターは、ご葬儀ご法事など、信頼と安心・安全をモットーにまごころを込めてご奉仕いたします。
提携式場として、「中野島ほうさい殿」も、ご利用いただけます。
事前相談や見積もり等承っております。お気軽にお問合せください。
(日・祭日除く 9時～17時)
フリーダイヤル みおくる ところ
0120-3096-56
危急のご連絡は24時間・年中無休
<http://www.ceresa-service.co.jp/>

12月の遺言信託個別相談会

15日(金) 稲田支店
・開催時間…9:00～16:00
・相談員はJA神奈川県信連の財務コンサルタント
・相談時間は原則1時間30分まで
・ご相談無料・予約制・秘密厳守
・ご予約は、相談会開催日の前々営業日16時までにお近くの支店まで
※開催日に都合がつかない場合は、お気軽にお近くの支店までお問い合わせください。
※JA神奈川県信連 信託代理店
JAセレサ川崎 本店金融推進部
(TEL877-2140)当JAが行う遺言信託代理業務は契約締結の媒介です。

HPで気軽に素早く情報をゲット

機関誌セレサはHPにて、閲覧することができます。また、各事業内容やイベント情報などを随時更新し、お知らせしています。
ぜひ情報入手のツールとしてご活用ください。

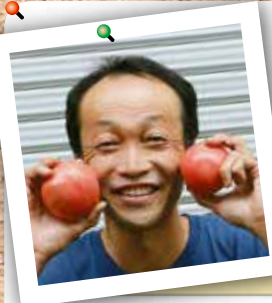




- ① 河崎 誠さん
- ② 高津区宇奈根
- ③ 宮前店
- ④ 卵・梨・柿など

出荷者のコメント

就農して約4年、家族4人で約1,000羽の養鶏の他、梨や柿などの果樹と野菜を栽培しています。鶏糞はすべて梨の肥料として使うことで、処理や肥料コストを削減しています。「味が濃くておいしい」と好評の新鮮な産みたて卵をぜひ食べてみてください。



- ① 守谷 公作さん
(守谷 久栄男さん)
- ② 麻生区早野
- ③ 麻生店
- ④ トマト・ブロッコリー
・キャベツなど

出荷者のコメント

定番野菜を中心に年間30品目以上栽培しています。おすすめはハウスで周年栽培しているトマト「桃太郎」。機械で温度管理などをしながら、毎日手で触れ生育具合を確認、品質維持に努めています。消費者からは「皮も果実もおいしい」と好評。ぜひご賞味ください。



- ① 三田 貴子さん
(鈴木 幸子さん)
- ② 麻生区古沢
- ③ 麻生店・宮前店
- ④ ミカン・ブロッコリー
・ハクサイなど

出荷者のコメント

4年前に就農し、家族4人で野菜・果樹を年間30品目以上栽培しています。中でもミカンは、大津四号など4品種を栽培。樹齢20年以上の木から収穫したミカンは「コクがあっておいしい」と好評です。品種に合わせ1月まで出荷します。ぜひ食べ比べをしてみてください。



- ① 石井 尊さん
- ② 幸区南加瀬
- ③ 宮前店
- ④ トマト・サトイモ・
レモンなど

出荷者のコメント

露地と温室で、年間約20品目の野菜と果樹を栽培しています。JAの講習会で学んだ知識を活かし、新しい野菜の栽培にも積極的に挑戦しています。収穫が始まった無農薬栽培のレモンは、レモンティーや砂糖漬けにして食べるとおいしいのでオススメです。

① 氏名 ② 住所 ③ 出荷店舗 ④ 主な出荷品目 ※()は出荷登録者名

セレサモスからのお知らせ

セレサモス麻生店

11月下旬以降はハクサイやブロッコリーなどの冬野菜が出荷される予定です。

また、11月下旬から12月上旬にかけて市内生産者が手塩に掛けて作ったジャムなどの加工品や多肉植物のフェアを開催いたします。日程や内容について、詳しくは下記ホームページをご確認ください。

12月は水曜日でも休まず営業いたします。皆さまのご来店を、心よりお待ちしております。

所在地：川崎市麻生区黒川172

電話：044-989-5311

営業時間：〈11月～3月〉10:00～17:00

定休日：毎週水曜日、年末年始他

12月の出張販売

7日(木)11:00～御幸支店
14日(木)11:00～大島支店
28日(木)11:00～みなみ支店
※荷がなくなり次第終了となります。

お米の日

【宮前店】毎週金曜日(第2金曜日を除く)と最終土日は全銘柄を1割引第2金曜日は1銘柄を2割引にて販売いたします。

【麻生店】第3、4金土曜日は1銘柄を2割引にて販売いたします。
☆セレサモスの駐車について
警察署からの指導により、駐車場への路上待機は一切できません。

セレサモス宮前店

11月下旬以降はダイコンやブロッコリーなどの冬野菜が出荷される予定です。

寒い冬には、旬の野菜にウインナーや鶏もも肉、卵なども混ぜスープカレーを作ってみてはいかがでしょうか。気温差が激しい日々ですが、野菜をたっぷり食べて、元気に乗り切りましょう。

12月は水曜日でも休まず営業いたします。皆さまのご来店を、心よりお待ちしております。

所在地：川崎市宮前区宮崎2-1-4

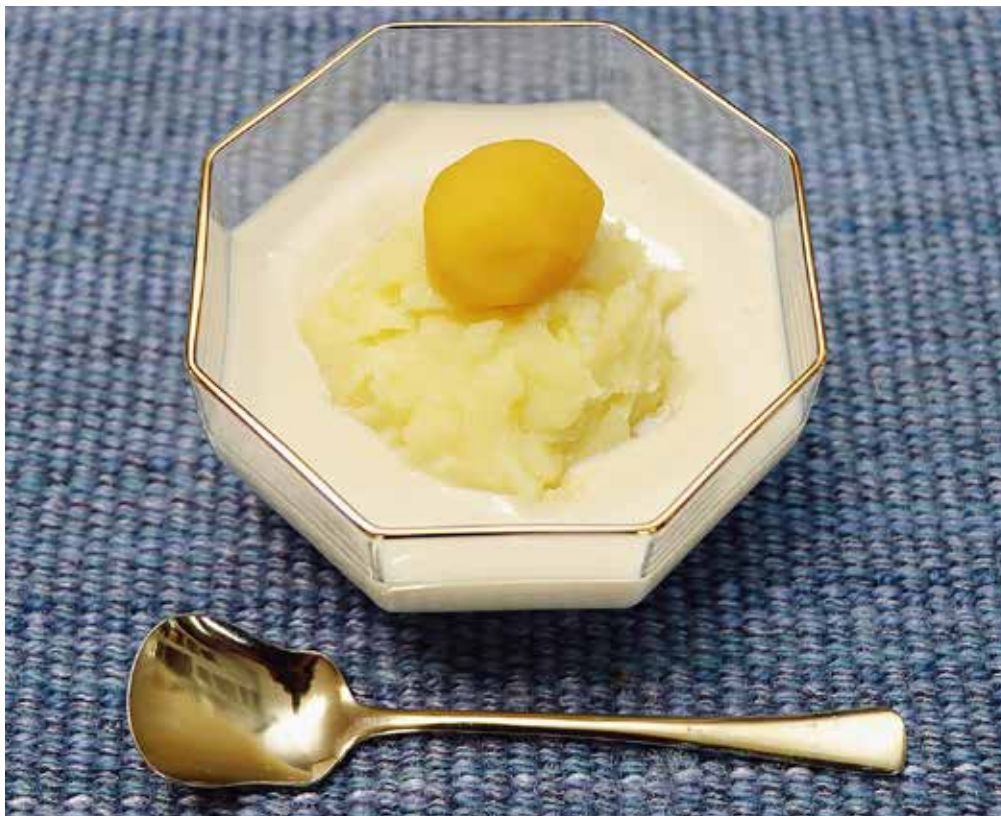
電話：044-853-5011

営業時間：〈通年〉10:00～18:00

定休日：毎週水曜日、年末年始他



Dish Up!



材料 (6人分)

A豆腐クリーム

- ・木綿豆腐…1丁 (約300g)
- ・メープルシロップ…大さじ3
- ・砂糖…大さじ2
- ★・ラム酒…小さじ1 (またはレモン汁…大さじ1)
- ・バニラエッセンス…適量

Bスイートポテト

- ・サツマイモ…300g
- ・砂糖…80g
- ☆・バター…30g
- ・生クリーム…50ml
- ・栗の甘露煮…6個

豆腐クリームを使った秋のスイーツ

作り方

A

- ①豆腐を700wの電子レンジで5分ほど温め、キッチンペーパーでくるむ。



- ②①に20分ほど重石を乗せ、1/2程度の厚さになるまで水切りする。



- ③②と★をフードプロセッサにかけ、滑らかになるまで混ぜ合わせる。



B

- ①皮をむいたサツマイモを1cm幅の輪切りにし、鍋に入れて中火で7分ほど茹でる。



- ②①を滑らかになるまでハンドミキサーにかける。



- ③鍋に☆を入れて中火で煮溶かし、②を加えて3分ほど練る。最後にバニラエッセンスを加えて混ぜ合わせる。



- ④豆腐クリームとスイートポテトを器に盛り、栗のをせたらできあがり。

ワンポイントアドバイス

多摩区菅馬場 金子 千恵子 さん
豆腐をくるむキッチンペーパーは、途中で取り替えた方が効果的に水切りできます。ラム酒をレモン汁に代用すれば、子ども向けスイーツとしても食べられます。簡単でヘルシーなので、ぜひ作ってみてください。

